※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3036 |
|---|---|

# 令和８年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 公共演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校政治・経済　新訂版」（実教出版）<br>「高校倫理　新訂版」　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「最新政治・経済資料集」（第一学習社）<br>「テオーリア　最新倫理資料集」（第一学習社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業はプリントを中心にすすめていく。
・ペアワークやグループワーク等も行っていくので積極的に授業に参加すること。
・ファイルを購入し、プリントの整理をすること。詳しくは初回に指示する。

## 2　学習の到達目標

一年次の必履修科目である「公共」で学んだことについて、さらに理解を深め、社会や人間の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目ざす。

・社会や人間の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
・よりよい社会や人間の在り方を実現するために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・現代社会の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる政治・経済や倫理に関する概念や理論について理解することができる。<br>・倫理的主体、政治的主体などとして活動するために必要な社会的事象等に関する情報を適切に収集することができる。 | ・社会的事象について、法の支配などの公共的な空間における基本原理などを活用して、多面的・多角的に考察し公正に判断することができる。<br>・社会的論争問題などについて、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを主体的に議論することができる。 | ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身につけることができる。<br>・社会的事象を多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとする態度を身につけることができる。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 現代日本の政治・経済 | ・政治と法の意義と機能<br>・基本的人権の保障と法の支配<br>・権利と義務との関係<br>・議会制民主主義<br>・地方自治 | a：政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深められているか。<br>b：政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができているか。<br>c：よりよい社会や人間の在り方の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深められているか。 | 定期考査 | 定期考査 | ノート提出<br>ワークシート<br>授業中の発言 |
| | 人間としての在り方生き方 | ・人間の尊厳と生命への畏敬<br>・自己実現と幸福など<br>・古代ギリシアから近代までの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、儒教など<br>・古代ギリシアの自然哲学<br>・近代科学の思考法<br>・経験論と合理論<br>・プラグマティズム<br>・現象学<br>・言語哲学<br>・構造主義など | a：先哲の思想などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観などについて理解することができているか。<br>b：古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現することができているか。<br>c：よりよい社会や人間の在り方の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深められているか。 | 定期考査 | 定期考査 | ノート提出<br>ワークシート<br>授業中の発言 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 現代日本の諸課題の探究 | ・生命と人間の関わり<br>・自然と人間の関わり<br>・科学技術と人間の関わり | a: 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて、現実社会の諸事象を通して理解を深められているか。<br>b:倫理に関わる基本的な概念や理論などの理解の上に立って、理論と現実の相互関連を踏まえながら、事実を基に多面的・多角的に考察、構想し、表現することができているか。<br>c: よりよい社会や人間の在り方の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深められているか。 | 定期考査 | 定期考査 | ノート提出<br>ワークシート<br>授業中の発言 |
| | | ・多様な働き方・生き方を可能にする社会<br>・産業構造の変化と起業<br>・歳入・歳出両面での財政健全化<br>・食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 | a: 多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両 面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて現実社会の諸事象を通して理解を深められているか。<br>b: 政治及び経済の基本的な概念や理論などの理解の上に立って、理論と現実の相互関連を踏まえながら、事実を基に多面的・多角的に考察、構想し、表現することができているか。<br>c: よりよい社会や人間の在り方の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深められているか。 | 定期考査 | 定期考査 | ノート提出<br>ワークシート<br>授業中の発言 |
| 三学期 | グローバル化する国際社会の諸課題の探究 | ・国際社会に生きる日本人<br>・我が国の風土と伝統、外来思想の受容<br>・日本人に見られる人間観<br>・日本人に見られる自然観<br>・日本人に見られる宗教観<br>・国民経済と国際収支<br>・国際協調の必要性や国際経済機関の役割 | a: 国際社会に生きる日本人の在り方や国際協調の在り方などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深められているか。<br>b: 国際社会に生きる日本人の在り方や国際協調の在り方などについて多面的・多角的に考察し、表現することができているか。<br>c: よりよい社会や人間の在り方の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深められているか。 | 定期考査 | 定期考査 | ノート提出<br>ワークシート<br>授業中の発言 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度